

## 3KM活用事例のご紹介① アイビック食品株式会社様

# 3KMは社員を幸福にし、業績を向上させる

3KM(スリーケーエム)は、株式会社土屋ホールディングスの創業者である土屋公三が開発した人生設計・教育プログラムで、「個人」「家庭」「会社」の3つのKと、「目標(Mark)」「管理(Management)」「意欲(Motivation)」の3つのMにちなんで名づけられたものです。今回は、だいたれ・スープを製造販売するアイビック食品株式会社の牧野克彦社長に、3KM導入による社員の自己実現サポートの方法や、事業にもたらす好影響などについてうかがいました。



代表取締役社長  
牧野克彦氏

### ◆「生涯幸福設計シート」で社員の自己実現を支援

会社のために自分や家庭を犠牲にする働き方が、人を幸せにすることはできません。反対に、自分や家庭のことしか考えず、会社の仕事をないがしろにするような生き方も、幸福への道ではありません。「3KM 私の生涯幸福設計シート」は、人生の全領域において長期的な視点で自己実現を図るために、きわめて有効なツールだと考えています。

当社では毎年、全社員が「生涯幸福設計シート」を提出します。「個人」「家庭」「会社」のそれぞれについて、「やりたいこと」および「それを実現するための具体的な行動リスト」を各10項目。それが「1年後」「3年後」「10年後」「20年後」とありますから、全部で120項目になります。

提出した社員は支援金1万円つきで「豊かさの実現休暇」という5日間の連続休暇を取得できます(繁忙期を除く)。せっかくの連続休暇も、単に休みを取っただけでは無計画に浪費してしまう可能性がありますが、3KMと運動することで、夢を実現するために行動する時間として活用できるのです。このように当社は、会社の仕事だけを重視するのではなく、家庭も個人の生き方も大切にする、バランスのとれた社員の自己実現をサポートしてきました。

### ◆3KMは自ら考え、自ら行動する社員を育てる

2020年は、当社のメインのお客様である飲食店・外食産業が新型コロナによって大きな打撃を受けた年でした。当社もその影響を受け、月々の売上が減少の一途をたどり、何らかの手を打つ必要に迫られました。

売上の落ち込みをどうやってカバーするのか——ネット販売を強化するなどの対策も考えられましたが、社員から出てきたのは「徹底的に飲食店を応援しよう」という声でした。「お客様が苦境に陥っているのを見過ごすわけにはいかない」と言うのです。

来店数が激減する中、テイクアウトや通販を模索する飲食店も増えています。しかし、長期保存しても味や品質が劣化しない商品を、飲食店が独自で開発するには限界があります。そこで、だし、総菜、レトルト食品まで、小ロットでも対応できる当社のノウハウを生かし、店の味を再現したオリジナル商品の開発を始めることにしたのです。

これが新聞記事に取り上げられると、新規の問い合わせや試作依頼が急増。さらに、この活動に共感した企業から、販路拡大をサポートしたいというお申し出までいただけました。

お客様のために自分たちにできることは何か——社員一人ひとりが自ら考え行動したことで、結果的に当社の道も拓かれました。先の見通せない時代だからこそ、3KMを根幹にした「人間力の育成」が、これまで以上に大切な時代を迎えていると思います。

#### お問い合わせ先

- 一般社団法人3KM生涯幸福設計実践協会  
〒060-0042 札幌市中央区大通西16丁目2-3 ルーブル16 9階  
TEL:011-615-8480 FAX:011-612-8431  
メール:infomail@3km.or.jp  
ホームページ:<https://www.3km.or.jp/>
- 株式会社土屋経営 TEL:011-613-2550